

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立湖北中学校

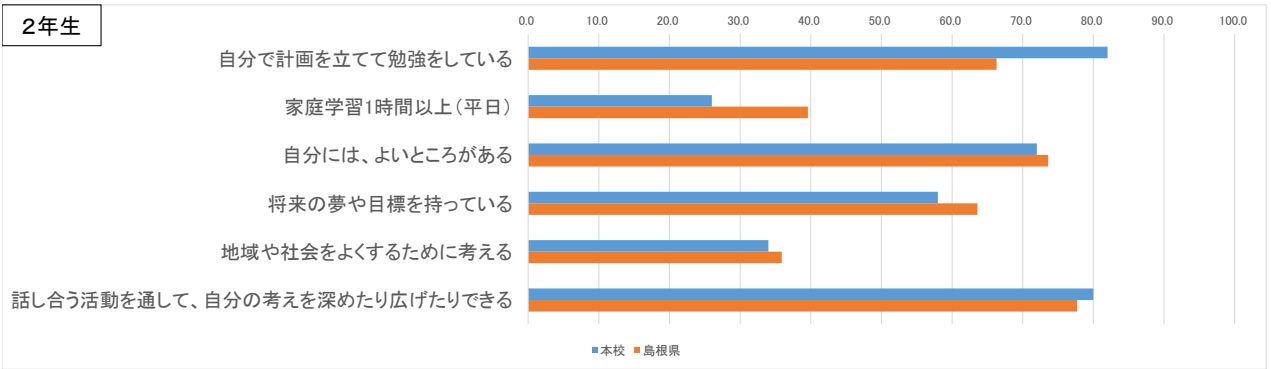
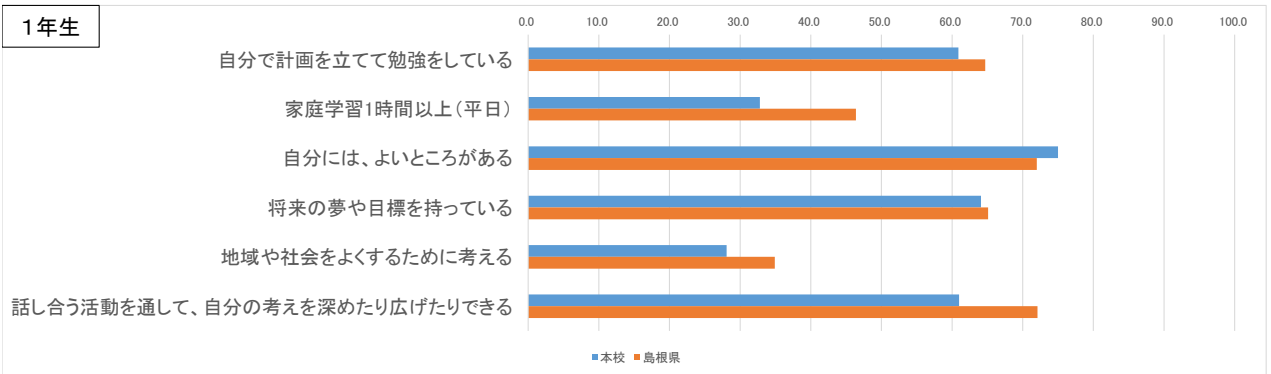
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	○歴史的仮名遣いが理解できている。 ○漢字の読み・書きは概ねできている。 ●読み取った内容を明確にして文章を書くことに課題がある。 ●漢字の部首に課題がある。 ●説明的な文章の内容を読み取ることに課題がある。	○中学校で習う漢字の読み取りは概ねできている。 ○話の内容を聞き取る力も概ね定着している。 ●作文を書く際、条件に合わせて書くことに課題がある。 ●複数の情報を整理しながら内容を解釈することに課題がある。
数学	○方程式の解き方を理解し、計算することができる。 ●数の概念が身に付いておらず、正・負の数の計算を苦手としている生徒が多い。 ●数を関数として捉えることができない生徒が少なくない。 ●基礎・基本の習得ができていない生徒が比較的多く、学力差が大きくなっている。	○基礎的な文字式の計算をしたり、連立方程式を解いたりすることができる。 ○文字式を活用して数の性質を表現したり、成り立つ理由を説明したりすることができる。 ●分数を含む計算や等式の変形に課題がある。 ●与えられた条件から関数の式を求めることに課題がある。
英語	○3文以上の英作文を書こうとする意欲が見られ、正答率が目標値に達している。 ●単語の並び替えや場面に応じて書く英作文のうち、疑問文や否定文の正答率が低い。 ●長文の読み取りに今後慣れさせていく必要がある。 ●リスニングの対話文の応答にも課題がある。	○リスニングによる内容理解は、比較的できている。 ●リスニングでは英文を聞いて、その内容について自分の考えを記述する力が弱い。 ●3文以上の英作文の無回答率が高く、文法的な誤りがあっても内容を伝える意欲が低い。 ●全体的に基礎・基本の定着に課題がある。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
意識	○教科で出された宿題にきちんと取り組んでいると回答した生徒が多い。 ●自分から主体的に家庭学習に取り組む生徒が少ない。 ●家庭学習時間が30分程度の生徒が多い。 ●「自分のことが好きである」という質問への肯定的な回答が少ない。 ●日常の中でクロスワードやパズルなどの言葉や図形を使った遊びに取り組むことが少ない。 ●英語では授業のノートをきちんととっていると回答した生徒が県の平均の3分の2程度と少ない。	○学校へ登校する日の起床時間や就寝時間は比較的早く、8時間程度の睡眠時間を確保できている生徒が多い。 ○全体的に自己肯定感が高く、将来への夢や希望をもっている生徒が多い。 ●平日の家庭学習を「ほとんどしない」と回答する生徒が4割近くいる。 ●授業で分からないことがあった際、教員に聞けずそのままにする生徒が多い。 ●授業の予習をしている生徒は少ない。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】 1年生 65 名 2年生 52 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)